



く る め し り つ み づ ま し ょ う が っ こ う が っ こ う  
久留米市立三潞小学校 学校だより

だい 1 2 号  
第 1 2 号

れい わ ねん 3 がつ 1 6 日  
令和 4 年 3 月 1 6 日  
こう ち ょ う こ と う ま 之  
校 長 後 藤 真  
じ ど う す う じ ゃ  
児 童 数 4 7 9 名

# ぎんなん

## 6年生のみなさん、ありがとう～6年生を送る会～



＜下 級 生 の 思 い を 見 つ め る 6 年 生 ＞      ＜ 6 年 生 か ら の メ ッ セ ー ジ ＞      ＜ 司 会 ・ 進 行 す る 5 年 生 ＞

3月 は、卒 業 の 季 節 で す。3月 4日、リモ ー ト を 使 っ て 6年 生 を 送 る 会 を 行 い ま し た。1年 生 か ら 5年 生 の 各 学 年 か ら、お 世 話 に な っ た 6年 生 へ 思 い を 込 め た メ ッ セ ー ジ や ダ ン ス、ラ ン キ ン グ で の ク イ ズ な ど の 感 謝 の 気 持 ち を 伝 え ま し た。ま た、「中 学 校 で も 挑 戦 し て、活 躍 し て く だ さ い」と 応 援 の 言 葉 が 送 ら れ ま し た。き っ と、6年 生 と の 関 わ り が お 大 き か っ た 証 拠 だ と 思 い ま す。あ り が と う 6年 生 の み な さ ん。な お、6年 生 を 送 る 会 の 準 備 や 当 日 の 司 会 進 行 な ど 5年 生 が 立 派 に や り 遂 げ ま し た。よ い 伝 統 が 引 き 継 が れ ま し た。

6年 生 80名 は、明 日 3月 17日 (木) に 本 校 を 巣 立 っ て い き ま す。

### 令和3年度の学校評価から (第3回地域学校協議会)

本 年 度、重 点 目 標「響 き 合 う 学 び を 楽 し む 子 ど も の 育 成」を 掲 げ、「学 び 合 い 高 め 合 う」を 合 言 葉 に 教 育 活 動 を 進 め て き ま し た。2月 7日 に 第 3回 地 域 学 校 協 議 会 が 開 か れ、1年 間 の 教 育 活 動 に つ い て 地 域 学 校 協 議 会 委 員 の 皆 様 か ら ご 意 見 を い た だ き ま し た。

主 な 成 果 と 課 題 は 以 下 の 内 容 で す。

- ＜ 成 果 ＞
- ◇ 保 護 者 アンケートの回 収 率 が 96%で あり、保 護 者 の 皆 様 の 教 育 に 対 す る 関 心 が 高 く、学 校 へ の 信 頼 感 の 表 れ で あり ます。
  - ◇ 保 護 者 の 皆 さん が 育 て たい 子 ど も の 姿 が「思 い や り の あ る 子」で あり ます。学 校 が め ざ す「学 び 合 い 高 め 合 う」に つ な が っ て お り、様 々 な 取 り 組 み が、保 護 者 様 か ら も 認 め ら れ て い る。家 庭 の 学 校 へ の 信 頼 と 期 待 の 表 れ で あり ます。
  - ◇「先 生 が わ か る ま で 教 え て く れ て い る」と い う 子 ど も が 80%を 超 え て い る こ と は、評 価 でき ます。先 生 方 の 頑 張 り の お か げ で あり ます。
  - ◇ 音 楽 を 研 究 の 中 心 に 置 き、リ ー フ レ ッ ト を 通 し て 三 潞 小 学 校 の 研 究 の 内 容 や 実 践 を 発 信 でき た こ と は、と て も 価 値 が あり ます。
  - ◇ 新 型 コ ロ ナ ウ イ ル ス 感 染 症 対 策 で 大 変 だ っ た が、I C T の 活 用、特 に ク ロ ー ム ブ ッ ク の 活 用 は コ ロ ナ 禍 で の 学 習 の 工 夫 と な っ て い る。今 後 の 学 習 に も 期 待 し たい。
- な ど

<課題>

- ◆ 学力向上の必要な子ども達へのさらなる指導や支援を図っていくことが大切である。
- ◆ 家庭学習の実施に対する子どもと親の意識の違いが見られる。今後、家庭学習の習慣化のために、宿題の量のバランスが大切である。また、自学をいかに取り入れて、自分の学びを身につけさせて行くのが重要である。
- ◆ スローメディアのために、ゲームのしすぎや情報モラルに関する内容をさらに家庭に浸透させて行くことが大切である。 など

## SNS等の被害にあわないために

スマホ等の普及は、確かに便利さを獲得しました。しかし、オンラインゲーム等で子ども達の間人間関係や生活のリズム等に悪影響を及ぼし、被害も数多く報告されています。

この内容は、本校でも喫緊の課題です。昨年度も紹介しましたが、再度、掲載します。

保護者の皆様も“オンラインゲーム「荒野行動」を介して大麻購入の勧誘を受けるという被害があったことを新聞でご覧になった方も多いためと思います。(令和元年12月25日付け：西日本新聞)

また、過去にも、大阪市の小学6年生の女の子が誘拐され栃木県内で保護されるという事件もありました。近年、小・中学生が犯罪被害に巻き込まれないかと危惧されています。

<SNSで事件に巻き込まれないポイント>

- ◇ 写真や動画、個人情報などを誰かに送らない。
- ◇ ネット上で知り合った人と会わない。
- ◇ フィルタリングを設定し、保護者が使用状況を確認する。
- ◇ パスワードを設定。保護者も把握する。
- ◇ ネット上のトラブルや犯罪被害があった場合は、学校や警察などに相談する。

グラフのように小・中学生がスマホ(携帯電話)や電子ゲーム機器類のSNS機能を通じて、被害にあうことが増加しています。被害にあわないためには、親子でしっかり話し合いをし、ルールを決めることが大事です。大切なお子様を犯罪から守るためにぜひお願いします。

学校でも子ども達に注意喚起を促し三瀬中学校区で取り組んだり、3年生から6年生がスマホ等との関わりを学んだりしています。ご家庭でも十分に注意されてご指導下さい。

## <学び合い、高め合うコーナー> (あいさつ・歌声・読書)



<音楽のリーフレットの一部>

本年度三瀬小の合言葉は「学び合い 高め合う」です。特に、三瀬小の心を響かせる3つの約束「あいさつ」「歌声」「読書」の取組に力を注いでいます。今回は、歌声です。本校は、令和3年度筑後地区小学校音楽研究会会場校として研究を進めてきました。

コロナ禍のために紙上発表となりましたが、研究の内容と実践の詰まった左記のリーフレットを筑後地区の各小学校へ発信しました。本校の先生方をはじめ関係の皆様の思いが凝縮されています。

子ども達の「感じる楽しさ」「表現する楽しさ」「協働する楽しさ」を味わい、音楽のよさや喜びを実感する姿が大きな財産となりました。皆様、ありがとうございました。

